

高齢者の視点からアドバイスしましょう
 避難所作りなどに皆様の知恵や経験が反映
 されるよう積極的に意見を伝えてください。

子供達を見守りましょう
 入トシ入の高い避難所では、子供達への本の読み聞かせや保護者代わり
 の見守りが、防犯面だけでなく子供たちの心の健康面からも大切です。

○ あなたの視点から子供をまもる

どうしても躊躇してしまつてしまう方は、身近な第三者を通じて通報を。

避難所の相談員に伝えましょう
 こんな非常時にと思う必要は全くありません。我慢したり、見て見ぬぶり
 をすると犯人を上げ上からせ、さらに深刻な状況を招きます。

緊急の場合は、その場で110番通報しましょう

○ 犯罪被害はすべてに110番

○ 知ることがまもりになる

大規模災害が発生すると、混乱に付け込んだ犯罪が増加します。災害や犯罪から身を守るには、どんなことに気を付けるべきかを知っておくことが大切です。もしものときの備えとして、ぜひ、ご活用ください。

○ 助かることが助けること

全力で助かりましょう

災害時は一刻の猶予ありません。救いの手を拒み「私はいから他の人を助けてください。」とやり取りするのは、時間を浪費して多くの人命救助の機会を奪います。あなたが助かることが人を助けることになるのです。善意には快く応じ、すぐに逃げてください。

頭とからだを使いましょう

せっかく無事に避難しても、体調を崩して重とくな病気(生活不活発病)になることが非常に多いと言われています。原因は「することがない」ことです。社会参加をして、健康を保ちましょう。

長期不在をさとられないよう工夫しましょう
 不在時は新聞・郵便物をとめるなどの工夫を。

震災被害が大きいほど、犯罪が発生しやすいと言われています。それは不在
 在世帯が増える監視する人の目がなくなるためです。健康な方は若者と一
 緒に見せる警戒をしましょう。

多くの目で地域を見守りましょう

警察からの犯罪情報に注目しましょう。

情報を集めましょう

- ◆ 避難で無人となった住宅を狙った泥棒、女性・子供を狙った性犯罪
- ◆ 公的支援金貸付融資や住宅修繕にかこつけた詐欺
- ◆ 衣服や食料品など生活必需品を高値で売る悪質商法

こんな犯罪が増えます

○ 「火事場泥棒」から地域をまもろう

○ なやまず相談

相談窓口の活用

相談先が不明なときは、避難所の相談窓口に連絡先を聞きましょう。

◇相談機関()

高齢者虐待を目にしたら

高齢の方が、身内の方等から暴力や介護放棄等をされているのを見かけたら、最寄りの警察署か市町の包括支援センターに通報してください。

◇最寄り警察署(Tel)

◇包括支援センター(Tel)

※一方、困っている若者がいたら声を掛けてあげましょう。

防災 長寿

防災防犯マニュアル
～ 銀のまもり～

静岡県警察

※ 番号順に点線を山折りし、財布などに入れて活用して下さい。